

SOA NEWS

Vo 1-7・No. 3

1987. 4. 20

(通巻一第59号)

埼玉県サイクリング協会 〒336 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内 TEL 0488-24-2711

役員総会開催される

昭和62年度の役員総会が4月12日(日)午後1時30分から青少年会館会議室で開催された。

総会に先立ち伝達委嘱が行われ、近藤繁男常任理事が講師に委嘱された。また原田知治副理事長がJCA 1級リーダー・高橋巨理事が指導普及者として更新した。

渡邊廣次副理事長の進行で開会、星野清理事長の開会の挨拶に続いて関井金五郎副会長の挨拶後、浜田卓二郎会長からの祝電が披露された。引続き議長選出に移り、関井副会長が議長に選出された。

61年度事業報告が星野理事長、決算報告が築比地秀夫常任理事から、監査報告が加藤政夫監事から行われた。

続いて役員改選に移り、選考委員会で新役員が推挙された。全員原案通り承認された。62年度事業計画・収支予算案が渡邊新理事長より説明があり、原田副理事長の閉会の言葉をもち、総会を終了した。その後サイクリスト顕彰が行われ午後9時30分散会した。

昭和62年度役員

会長 浜田卓二郎
副会長 関井金五郎、星野 清
監事 岩井俊一、杉山 弘
理事長 渡邊廣次
副理事長 原田知治、川村雄豊

昭和62年度サイクリスト顕彰

<JCA表彰>

功労賞 近藤繁男、川村雄豊
川口CC

<SOA表彰>

功労賞 原田知治
優秀特別賞 矢作知久
特別特別賞 石原博、田中美千代
グループ活動賞 グループCC
特別賞 山崎辰雄、亀田文夫

ぐるっと埼玉ポイント30正解賞

近藤繁男、北村明子、渋谷二三
黒川正二

昭和62年度事業計画

本年度の重点目標

- ◎「みんなの協会」づくり
- ◎サイクルスポーツの普及・推進
- ◎ヘルシー埼玉21県民運動に協賛・実践

☆委託事業

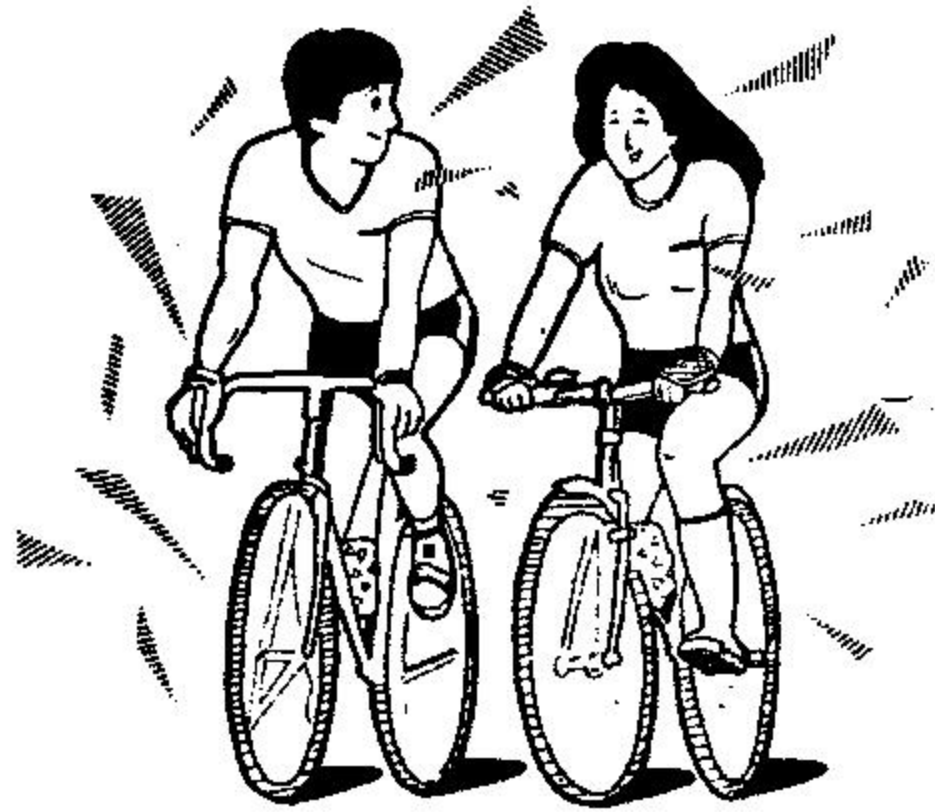
1. 1・2級リーダー養成検定講習会
:JCA
2. 指導者研修会:JCA
3. 埼玉県サイクリングラリー:JCA
4. 健康・体力づくりのつどい:県R協

☆自主事業関係

1. ぐるっと埼玉ポイント30
2. チャレンジサイクリング
3. SCAラリー
4. サイクルスポーツ講習会・研修会・大会
5. 年末懇親パーティ
6. 新春サイクリング
7. 野外活動用品・視聴覚用品の貸出
8. SACニュース・インフォメーションの提供
9. サイクリスト顕彰

☆参加行事関係

1. 全国サイクリングラリー
2. 関東甲信越サイクリングラリー
3. 中央指導者講習会・研修会
4. JCAリーダー検定講習会
5. センチュリーラン
6. サイクルスポーツ大会
7. 全国クラブラリー
8. 自然公園大会
9. 女性サイクリストのつどい
10. 全国レクリエーション大会
11. 埼玉県レクリエーション大会
12. 青少年健全育成埼玉県大会
13. 埼玉県青年洋上大学
14. 総理府・埼玉県青年海外派遣



主な行事予定表

- ★チャレンジサイクリング
5/17 秋ヶ瀬公園・嵐山町
- ★クリーン&ファミリーサイクリング
5/31 秋ヶ瀬公園他
- ★関東甲信越サイクリングラリー
7/26-27 群馬県
- ★自然公園大会
8/5-6 奈良県
- ★SCAクラブラリー
8/22-23 未定：県西支部担当
- ★全国サイクリングラリー
8/29-30 山口県
- ★埼玉県サイクリングラリー
9/27 未定：県北支部担当
- ★全国レクリエーション大会
10/16-18 山形県
- ★指導者研修会
10/24-25 吉見町
- ★埼玉県レクリエーション大会
11/8 飯能市
- ★SCAサイクルOL大会
11/8 飯能市
- ★SCA年末懇親パーティ
12/5 未定：県北支部担当
- ★新春サイクリング
1/10 未定：県東支部担当
- ★サイクリング教室
3/13 浦和市
- ★ぐると埼玉ポイント30
62年度中

<JCA・各都道府県協会>

全国ラリーご案内

日時 昭和62年8月29日(土)～30日(日)

会場 *集合場所 山口県スポーツ文化センター

*開閉会式場 同センター

*宿泊 山口市湯田温泉

*交歓会場 湯田温泉(かめ福)

定員 1,500名

参加資格 各都道府県協会、JCAが認めた者で自分の責任でサイクリングの出来る者

参加料 JCA会員 1,000円(記念品、保険料、宿泊費=昼食2食) 一般 1,200円(同じ)

申込 5月10日までに所属協会へ、

コース ★第一日 *秋吉台健脚コース(78Km) *秋吉台一般コース

(60Km) *山口観光コース(41Km)

*防府コース(41Km)

★第二日 *萩コース(56Km) *宇

部コース (32Km)

大会事務局

〒747 山口県防府市三田尻2-3-28

山口県自転車商協同組合内

第31回全国サイクリングラリー

山口県大会実行委員会

TEL 0835-22-0712

《ぶらりサイクリング》

木の精

私のように年齢も重なってくると何かと信じてよい様な古い話の一つや二つあるものだ。私の生まれた与野市といえ、扇の宮と呼ばれた水川神社、誰でもご存知の妙行寺のカヤの大木、近頃知られる七福神、与野公園内のバラ園が有名である。

然し、私には今でも忘れられない巨木の事がふとなつかしく思い出される。ある日、亡兄にその木の事を尋ねると兄は戦前、与野高から本町通りを横切り、現在の市立診療所の北側を通る道の南よりの高台に、幹を大人でも5・6人で抱き切れない樺の巨木があり、およそ樹高二十米余りもあった。町の一番東の外れにあった駅から家路をたどる多くの人々は晴れた日など、夕陽を背にすくと立ったその大きな姿に、何かしらほっとして望めたと云う。

何でもその木は、その屋敷の主が先祖から、この木はここを旅する神様がお泊まりになる木だから、決して粗末にはしてはいけない、と言伝え大切にしてきたそうである。落葉を焚くことをせず、集めると根元に戻し、枝が落ちてもしっかりしていたと云う。それが、終戦の日を境に押寄せた価値感の急激な変化に見舞われ、言い伝えも一笑に付され、迷信と罵られやがて、木の繁る下が家数戸分はあるのも災いして切り倒され売却された。

然し、兄の話では、まだ若く健康そのものだったその主人が急に逝き、その後も家族に次々と不幸が見舞った…とか。

又その木を切る仕事を引き受けた木挽き職人も、丈夫でまだ若いのに不掃の客となり、その木を買い取った材木商も、加工のため引き取った者等々、その木と関わりを持った人々が大なり小なり偶然と云うには不思議な不運に見舞われたとの事。

迷信と云うには不可解な話と、かって豪快に枝を張ったその大木の姿が今でも私の脳裏に浮かぶ。

「木の精」そうした言葉が神聖な響きを私に信じさせるように！！

杉山 弘記

【事務局だより】

□62年度役員総会で新役員が誕生致しました。事務引継等で多少ご迷惑かける事と思いますが、宜しくお願い致します。

□会員登録をしていないクラブ並びに会員の方は至急手続きを取って下さい。

≪編集後記≫

□上旬は不順な天候が続き、お花見もいまひとつ盛り上がらなかった。いよいよ連休に入るがどこも混雑する事だろう。サイクリングで近場を走り、思いがけない再発見をするチャンスでもある？。

□サイクリングが見直され、市町村・企業単位の企画が行われているようだが、本来のサイクリングの良さを見失って欲しくないものだ。